平成10年3月26日発行

NO196

泉南走ろう会

連絡先
泉南スポーツ社
☎24(83)4653

一、お知らせ

・例会日
・四月十二日
・樫河神社　九時　集合
コースは未定
なお、当日町石道クロスカントリーに、参加される方がおられます。集合されたメンバーで練習よろしくお願いします。

・四月二十五日
富士五湖チャレンジウルトラマラソン参加の為中止しますので、各人で練習お願いします。

二、お花見について

・寒さも日一日と和らぎ始めた今日此頃、少し野山に足を踏み入れれば春の気配を感じ、春の香りが鼻をつく、木々は今にも芽をふきそうな雰囲気である。又今年の桜の開花予想も例年より早くなりそうとのこと、そこで四月四日(土)十一時より樫河神社にて、御花見を行なうと思います御家族での参加をお待ちしております。日頃奥さん孝行できていない方は是非多数の参加大歓迎です。料理は寿司中心で行ないます。なお、ビールをおいしく飲みたい方は、九時に集合して一時間程度走りたいと思いますので準備よろしく。

泉州マラソン記

真鍋　裕香

だらだらと上りつづいた坂の上、いつも見なれた泉南の街。右側には関西空港、確かにここはマリンブリッジの頂上。前方に赤や黄の風せんがあがるゴール会場が見えた。「本当にここまで来たんだ!!」喜びのあまり顔がにやついてくる。

左腕にはめた腕時計のストップウォッチが何分を差しているのか、全く興味もなかった。ゴールのゲートは大きく開いて待ちかまえ、4時間12分と書かれた電光計時が私のゴールを見とどけてくれた。私は両手のガッツポーズでそれに応えた。タオル掛けをしてくれた達史(息子です)の保育所の担任の先生の胸にとびこんだ。涙が出てしょうがなかった。

「痛!!」2月3日の朝。早朝ジョギングを終え、身仕度の途中の出来事だった。おんぶしていた達史を下ろそうとしゃがみこんだその瞬間、左ひざに激痛がおこった。立ち上がれず、顔がゆがむ。「まさか…」しばらくしてもう一度しゃがんでみたが結果は同じ。「どうしたらいいのかな」私はちょっとパニックになった。私は数ヶ月前に見たランナーズの記事を思い出した。「笹原整骨院」確かランナーの故障も診てくれると紹介されていた。そこは、阪南市尾崎にある整骨院だった。

さっそく診てもらったところ、「左ふともの筋肉の疲れがひざにきているのと、ちょうけい靭帯もいたんでいるかもしれない」との事だった。どうも練習不足のあせりから、2日連続2時間走を決行したのがここにきたらしい。湿布と包帯でぐるぐる巻きにされた左ひざを見ながら悪魔がささやく。「このひざのせいにすれば大場できる。2時間走でバテバテで帰ってきて2年連続途中棄権になる自分の姿が目に見えていた矢先の事だけに、心の中で葛藤をくり返した。「完走したい…」「やっぱり完走したい!!」

「前へ!前へ!!」私は走りながらリズムにあわせて、心の中でくり返した。10K地点。昨年バスに乗りこんだ屈辱の場所。スタートから58分だった。今年はバスも見ず、少し苦笑いを残し通過した。これからがスタートだと気合いを入れ直す。ハーフ地点。1時間45分に到着。これから2時間を超える。しかし今日は違った。右足にできたマメが痛いが、気分が違う。「走りぬくぞ!!」という気合いが違う。この後ゴールまでの2時間17分、今日の気合いと、昨年の屈辱だけが足を動かした。「前へ!前へ!!」

4年ぶりのフルマラソン完走。今年ほど感動したゴールはなかった。有森じゃないけど「自分を褒めてあげたい」そして支え、応援してくれたみんな、家族に感謝したい。ありがとう。

余裕の笑顔デース!!